

東北日日新聞

本紙一ヶ月三十日
年報料一元二角五分
半年報料六元二角五分
一年報料十二元二角五分
廣告刊費別議
印刷部 石巻市平野町
電話 二七〇
編集室 石巻市平野町
電話 二七〇
發行部 石巻市平野町
電話 二七〇
社務部 石巻市平野町
電話 二七〇

社説

平町議戦に珍らしい小學校教員が立候補した。

鈴木光吉君がそれであるとして見事に當選者の中に名を連ねるに到つた。その後縣教育界へ何事かを暗示する許りでなく、縣學務部でも相當問題として討議された結果、辭職して町議としての責を負ふべきであると決定したとさへ傳へられてゐる。當人鈴木光吉君が、相變らずこつ／＼と小學校へ通つて教鞭を執つてゐる辭職すべき筈であるとしてゐる當局の見解も何等の決定的なものでもなからうか。

無届異動に就て

平 税 務 署

平 税 務 署

〆届を出さねばどうなるかを納めて済むのであります。届を出さねばどうなるかを納めて済むのであります。罰金科料の制裁が法律に定に成功したる地目に依つて、めてあります。又開墾地の如地價を定め地租を徴收され、きは届を出せば開墾着手ののみならず成功の月には、年から二十年間は地價の修かのぼつて地租を追徴され、正を爲さず元の地目であるのであります。

容易に終息しない 悪性のハンシカ

死亡率が極めて多い

ハシカは神様だ……死ぬ時は死ぬ……と牛氣の山間部落

麻疹の流行は入梅季節に最もシャウケツを極めるのが通例であるが本年は氣候不順の爲め郡下各地に、極めて悪性のハンシカが流行し容易に終息の模様なく死亡率も可成り多いが一面には麻疹は一種の病氣ではあるけれども其の療養は人爲の及ぶところにあらずと誤信してゐる事實があり一家二名の幼兒が死亡しながら醫師の下に平然として單に

勿來關跡を中心

文化村建設の計畫

資本金百萬圓で

太平陸四郎氏等奔走

社會的思想が普及せぬ時代なら兎も角現在では亂暴も甚だしいこと子供病氣をそれ程安く評價する時代ではないとして、社會的にも大いに改善すべき問題で個人衛生に對しては一層自覺しなければならぬ。

平署に告發された

平町議改選の替玉投票

故意か過失かや問題で

事件の進展注目される

過般執行された平町會議員來る町會で相當論議される。改選に際し四五の有権者がのど頗る注目して居た。他町村へ轉出して平町の公矢先今度は好間村大字居住民權と失つてゐるにも拘らず山崎某が替玉の投票を行はず名簿に登録されてゐるつたと云ふので非常に關係から

投票をした云ふ事

ひそかに取調べを行つてゐるが山崎某が替玉を行つたか否かの問題に對しては平町から一年前に好間村へ移居してゐたが出張と云ふ疑問な爲め事件の進展に就て非常にかつ目されてゐる。

けば地籍が複雑になつて實居する土ちがあつても其斯様に籍を云ふことは大地と土ちを帳やち圖と符合の土ちを稅務署士が帳をせよと云ふことになり。何某の所有らとして登録されれば色々となつて問題が起つて來ます。境界の争など其の源は此出でも何んとも致し方がないのであります。是は昔に租改正の際届を出さなかつた爲めでありまし、法規の命する所に依り腕入れをしたたり木を伐つたりして買受けねばならぬと云ふして自分所有の様にしたいのであります。

村議當選者

夏井村 矢吹豊、高木泰造、渡邊佐重、山名仙之助、青木勇次郎、小林半次、鈴木幸吉、矢吹喜藤治、鶴沼常造、酒井兼吉、大和田清治、大和田喜宗、友陸、内藤直治、片寄多美彌、遠藤齋、遠藤吉藏、高萩國太、高橋謹吾、高萩實實、吉田政慶、小沼三男、高萩馨。

小名濱町の公設質屋

石城郡小名濱町、は商賈實現に喜び活氣を呈してゐる。事は既報の如くであるが商港起工、平小鐵道開通後等に於ける同町の發展を豫想して同町では各種の發展案に努めてゐるが先づ第一着手とし同町では此程町會を開き二萬二千圓の低利資金を受け同町の島地内に一大公設質屋を設置することに決定したが公設質屋を設けることは郡下最初の事に市營林署長に榮轉した平岡營林署長から鳥取縣松江白銀町 丸山雜貨店

平岡營林署長

〆明日赴任

文化研究会

本縣文化研究のため平町諸根棊一氏は福島縣文化研究會を起して縣下各名士の著書を毎月發行することになつた。



體溫計、寒暖計、晴雨計、湿度計、電燈、電扇、電話機、各種電器品、丸山雜貨店、石巻市平野町、電話 二七〇。

避暑地

水郷めぐり

更に佐原に引返せば、驛の南方三丁の丘上にある佐原公園には始めて日本の實測地圖を作り上げた伊能忠敬翁の銅像があります。又市内本橋元、樋橋の傍に翁の舊宅が残つてゐますから、時間があつたら訪ねてみるがよいでせう。當年翁の使用された測量具類が残つて居ります。

伊能家代々の墓は牧野の御福寺にあります。驛から十五丁、平親王將門の妾桔梗の前の墓もありますから、訪ねて天慶の昔をしのばれるのも面白いでせう。

倍、佐原發銚田驛の汽船に乗れば船は横根根の大かき門(長さ五十間、扉が船の出入毎に開閉される利根の水害を防ぐ爲めに設けられたもの)から牛堀(霞ヶ浦の水が利根に落ちる口)潮來を経て鹿島神宮の大鳥居が立つてゐる大船津迄約二時間かゝります。

或は加藤洲の十二橋をくぐる航路によつて潮來に出ればこの時間を十分程短縮出来ます。但しこの場合はモーターボートを利用するのです。

船が佐原を離れた時、願うと左方をか上に利根川治水記功碑が立つてゐます。六千三百四十萬圓の國費、二十七ヶ年の日子を費して成就した大利根治水の事を

石に刻んで水郷公園に立てたものがあります。その邊にたゞずんで指顧致しますと出入の大船、小船、白帆、芦荻、筑波山、香取の森、大江の水等水郷氣分の横溢してゐる事を覺えます。

大船津着船場から鹿島神宮迄は約十八丁乗合自動車の便があります。

鹿島神宮の祭神は武甕槌命で香取の神と共に成國武神の始祖であります。古くは神武天皇即位の元年に神宮造營の事が傳へられて居りますが、現にある神宮入口の樓門は寛永十四年に水戸光くに公の奉納したもので、社殿は元和元年徳川秀忠の本殿、奥殿は慶長十年徳川家康が關ヶ原勝記念に建てたもので、何れも特別保護建造物に指定されて居ります。然し神さびた宮内よりも何よりも目につくのは神宮をめぐる林相の美であります。

西洋料理 **丸昇軒**
電話四三九番

距城四十町歩、國有林四十町歩合せて八十町歩の大森林が何れも魂々享たる巨木群を擁し永くに神徳の廣大を誇つて居ります。

境内で見るべきものは拜殿の東側にある藤原鎌足公手植の藤(附近農村の人々はその開花の多かによつて年吉凶を卜ふ)本殿背後の巨杉(周圍三丈の神木)

菖蒲浴衣の大廉賣

六月七日より

- 五大特價品
- 大 絞 一圓十錢
- ア 太 絞 三十錢
- 桃 染 絞 六十錢
- 紺 染 絞 一圓二十錢
- 伊 達 絞 五十錢

●中形御紹介

- 1 大評判の婦人俱樂部浴衣
真 岡 地 二圓五十錢
三圓五十錢
- 2 音曲ゆかた地
真 岡 地 二圓三十錢
三圓五十錢
- 3 都會行進曲浴衣
真 岡 地 二圓卅五錢
- 4 昭和好み一葉浴衣
真 岡 地 二圓二十錢
- 5 最新柄中形十數種陳列
手ぬぐひ地中形 七十八錢

三井吳服店

電話三八番 七五二番

學生靴景品附大特賣

- 御用命は……一直線に大塚へ!
 - 中學校……通學靴
 - 小學校……通學靴
- ◆豊富に而も廉價に用品を揃へて……

各學校御用 **大塚支店**
製靴部 運動具部
平町田町 電七〇二番

三週年記念!!!

總て四季の洗濯物の……
御用命は……迅速
……御用命は……迅速
……御用命は……迅速

大倉洗濯店

店主 大山房義

平町紺屋町(縣社通り)
宴會席の
設備あり
美味で
評判の **イブキ食堂**
小宴會歓迎す
電話四六〇番

玉屋洋品店

平町田町通り 電話六五六番

御節句の贈答引物品賣出し

御買上金五圓以上粗景品
種々取揃へお待ち申して居ります
是非お越下さい
期間(五月廿八日ヨリ)十五日間
(六月十一日マデ)
平町二丁目

和久井屋漆器店

電話四〇五番

別府温泉より生れたの靈藥

神 經 痛
肩 の コリ
腰 の イタミ
過 勞 性 筋 傷
凍 傷
暑 傷
皆 様 是 非 お 試 し 下 さ い ま せ
此 外 用 温 泉 エ キ ス は 今 迄 且 つ て 世 の 中 に 無 か つ た
神 秘 的 の 妙 藥 で あ り ま す 連 續 使 用 し ま し て
も 副 作 用 が あ り ま せ ん の と 効 力 が 確 實 な 事 と は 他
藥 品 の 比 で は あ り ま せ ん
萬 病 に 靈 効 あ る 別 府 温 泉 水 定 價 一 圓
平 町 五 丁 目

温泉エキス

五拾錢 壹圓

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町 電話三〇七番
看護婦派出の需めに應ず

特賣!

たひら正宗 福島縣清酒 一等賞受領品評會
花 春 同優等賞受領
鹽屋最上醬油醸造元

山崎合名會社

平町土橋 電話一〇番 二七番 東京上野車坂四三

東京支店

電話下谷五七二番

内外果實問屋

不藤居商店

平町三丁目 電話五四三番